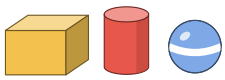
いろいたと ぼうで かたちづくり



ポイント

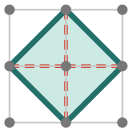
さんかくの いろいた 2まいで ましかく。ぼうは かどと かどの あいだに 1ぼん。

かぞえた いろいたや ぼうには しるしを つけると、2かい かぞえたり わすれたり しない。

1 さんかくの いろいたで かたちを つくりました。いろいたを なんまい つかって いますか。

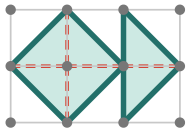
きほん

あ　こま



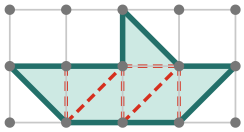
4 まい

い　さかな



6 まい

う　ふね

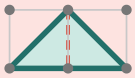


7 まい

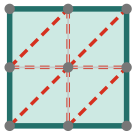
あかい てんせんが さかいめ。こま 4まい、さかな 6まい（からだ 4・しっぽ 2）、ふね 7まい（ふね 6・ほ 1）。

2 さんかくの いろいた 2まいで できる かたちに、ぜんぶ ○を つけましょう。

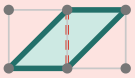
あ



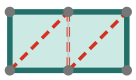
い



う



え



あ おおきな さんかく・う ななめの しかく は 2まいで できる。い の おおきな ましかくは 8まい、え の ながしかくは 4まい いる。

3 おなじ ながさの ぼうで かたちを つくりました。ぼうを なんぼん つかって いますか。

あ



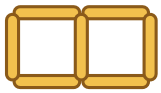
3 ほん

い



6 ほん

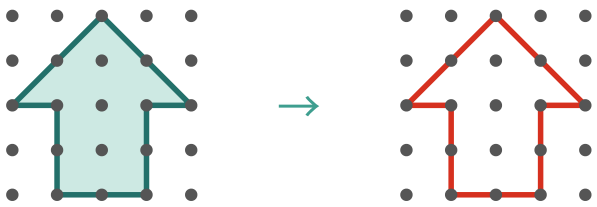
う



7 ほん

あ 3ぼん（さんぼん）。い ましかく 4ほんと やね 2ほんで 6ぼん（ろっぽん）。う まんなかの ぼうは 2つの ましかくで つかうので、8ほんでは なく 7ほん（ななほん）。

4 てんと てんを まっすぐな せんで つないで、ひだりと おなじ かたちを みぎに かきましょう。



やねの さきの てん（いちばん うえ・ひだりから 3ばんめ）から かきはじめると わかりやすい。

こたえを みたら、もう いちど やってみよう。

あかい じが こたえ。